

特許出願公告及特許拔萃

特許公告拔萃

ピストンリングの製作法 (昭和 15 年特許出願公告第 572 號, 公告 15-2-10, 東京, 樽見哲太郎) 本發明は縱溝又は缺圓部を有する心棒に緊迫せられたリング母體を嵌裝し母體の間の閉塞點と該縱溝又は缺圓部とを同位置に來らしめその空際に低溫可熔物可塑物等を介在せしめて母體の芯出しと支持とを同時に行はしめて以て其の外徑を仕上ぐる事を特徴とするピストンリングの製作法に係る。

マグネシウム電解製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 580 號, 公告 15-2-10, 東京, 二司丈夫) 本發明は直流電解端子電壓 3~7 ボルトに於て電解作業を進行しつつ陰極面に凝結する金屬 Mg を特に間歇的の交流重疊により之を陰極面より離脱せしむる Mg の電解製造法に係り不純物の析出を避くる如き低電壓にて行ひ得るものである。

自動車用機關に適する曲柄軸製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 588 號, 公告 15-2-10, 東京, 株式會社日立製作所) 本發明は自動車機關用曲柄軸の製作に當り Mn・Mo 鋼に對し普通の燒入溫度にて燒入を行ひ之に Ac₁ 變態點以上 20~50°C に於て燒鈍を行ふ曲柄軸製造法に係るものでかゝる熱處理により降伏比小で硬度高き材料として熱處理或は機械加工により素材に生じた歪の矯正を容易ならしめ加工精度高き自動車用機關に好適な曲柄軸を得んとするものである。

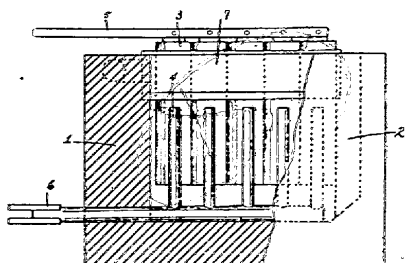
アルミニウム輕合金合せ板の製造方法 (昭和 15 年特許出願公告第 589 號, 公告 15-2-10, 東京, 古河電氣工業株式會社) 本發明は強力 Al 輕合金の鑄造又は鍛造心材の稜邊を切り落し之に接着良好な Al 又は Al 合金片を嵌合し其の上に耐蝕性 Al 合金板を重ねて熱間壓延する Al 輕合金合せ板の製造方法に係るもので硬度高く従て加工性乏しく接着困難なる耐蝕性 Al 輕合金板を容易に強力 Al 輕合金板に接着せしむるものである。

精密發條自働式製作法 (昭和 15 年特許出願公告第 590 號, 公告 15-2-10, 東京, 安立電氣株式會社) 本發明は高溫度に燒鈍して完全なる成形を施したる發條を 10,000 kg/cm² 以上の水壓下に於て壓搾する發條の製作法に係るものである。

成形線の伸線装置 (昭和 15 年特許出願公告第 656 號, 公告 15-2-10, 東京, 古河電氣工業株式會社) 本發明は圖示する如く多數のダイスが交互に左右に配置せられ線が牽引胴上に同一捲回方向に於て交互に反

對方向に捲き進む様捲回せられた成形線の伸線装置に係るもので成形線に捩れ並に疵の生ずる事を防止せんとするものである。

マグネシウム電解製造装置 (昭和 15 年特許出願公告第 665 號, 公告 15-2-15, 新潟, 二司丈夫) 本發明は圖に示す如く兩種電極によりて生ぜしむる電



位差の漸次遞減する經路を電解槽に横斷的に位置する如くなし以て電解電力を電解槽の側邊部分に於て最大に又之を對する側邊部分に於て最小ならしめ該對側邊部分の槽壁に生成 Mg の溜所を設けて電解液をして該溜所の方向に連續的に對流浴流を生ぜしむる様なした Mg 電解製造装置に係るものである。

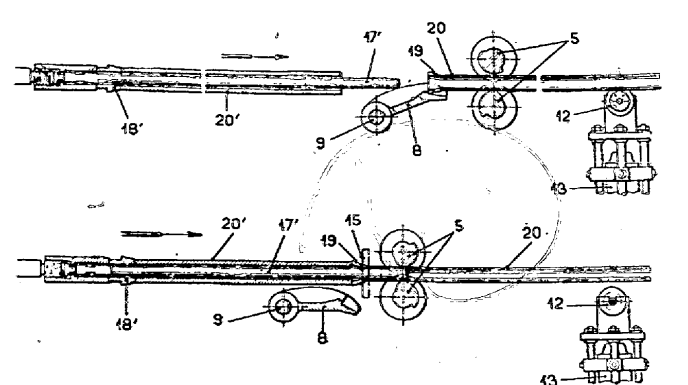
原鑛處理法 (昭和 15 年特許出願公告第 668 號, 公告 15-2-15, 朝鮮, 日本高周波重工業株式會社) 本發明は酸化鐵石の如き原鑛粉粒をコークスの如き還元作用物質と混和し特に放射能物質の共存又は傍存に於て高周波電流を通じ處理する原鑛處理法に係るもので特許第 131016 號原鑛處理法の改良發明で原發明に於る高周波電流の作用を一層増進したものである。

原鑛處理法 (昭和 15 年特許出願公告第 669 號, 公告 15-2-15, 朝鮮, 日本高周波重工業株式會社) 本發明は特許第 131016 號の追加發明にして酸化鐵石例へば砂鐵の如き鑛石粉に炭炭等の還元劑を加へ特に之を磁場内に於て高周波電流を通じて還元する方法に係るもので原發明に於ける高周波電流の還元作用を一層増進したものである。

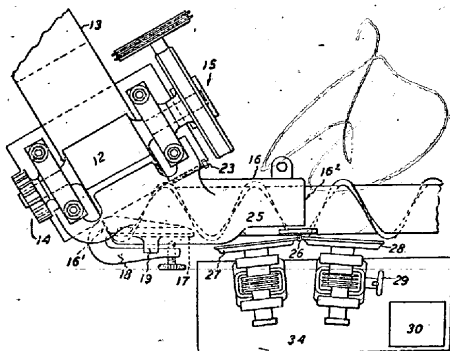
原鑛處理法 (昭和 15 年特許出願公告第 670 號, 公告 15-2-15, 朝鮮, 日本高周波重工業株式會社) 本發明は特許第 131016 號の追加發明にして酸化鐵鑛の如き原鑛粉粒に還元劑例へばコークスを混和し特に紫外線を照射しつつ高周波電流を通じて還元を行ふ方法である。

還元鐵製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 671 號, 公告 15-2-15, 滿洲國, 株式會社昭和製鋼所) 本發明は鐵鑛石中に豫め Mn, Mo, Cr, Ni, 等有用金屬又は其の化合物乃至其の鑛石を炭素質物質の適量と共に混合し之を密閉器内に裝入し外熱により造滓成分の熔融點以下の溫度で加熱還元し更に溫度を高めて還元鐵に炭素を吸収させ同時に添加金屬の一種又は二種以上を合金せしむる事により製鋼原料に供し得べき合金還元鐵粒を製造する方法に係るもので特に有用金屬の添加により粒鐵の生長を促し鑛滓との分離を容易ならしめたものである。

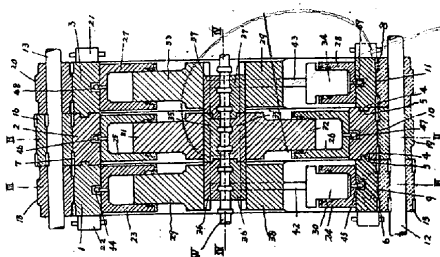
接目無管の製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 732 號, 公告 15-2-20, 佛國, ソシエテ, アノニム, デ, チューブ, ド, バレンシエヌ, エ, ドナン) 本發明は同一心體上にて 2 本の素材を壓延すべくし而して第 2 素材にて第 1 素材を押し進め之に依て金屬を損失する事無く兩素材を完全に壓延すべくした連續工程に依る壓延装置に於て接目無管を製造する方法に係るもので管壁にヘドを生ぜしめざる如く壓延し得べくし以て材料の損失を防ぎ且優秀なる製品を得る特徴を有するものである。



螺旋形熔接金屬管製造機 (昭和 15 年特許出願公告第 733 號, 公告 15-2-20, 濠洲, ラルフ, ウキリアムス,) 本發明は圖に示す如く原料金屬板帶の兩横縁を壓面鋸出す装置, 鋸出板帶を板帶送給線と或角度を以て配置せられた管状捲型内に接觸挿入をなさしめ以て捲型内壁と摩擦しつつ相隣接せる螺旋鋸縁が突附接觸の状態にて進行する如くせる装置及び該螺旋板帶が捲型管の終端より脱出前接觸鋸縁を熔接する装置を包含して成る螺旋形熔接金屬管製造機に係るものである。



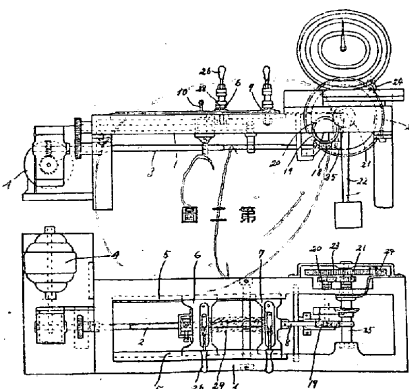
振り鍛造機 (昭和 15 年特許出願公告第 735 號, 公告 15-2-20, 東京, 三菱重工業株式会社) 本發明は同一軸線上に於て互に關係的に回轉し得る如く並設せる複數個の主枠内に夫々唧筒(又は唧子)を回轉中心に向ふ方向に其の外端を固定し壓力流體の作用により該唧筒と共働する唧子の内端に可分割鍛造型の一分割型を装着し殘部分割型は前記と同様に唧子の内端に装着するか又は主枠に装着する如くした鍛造機に係るもので圖は其の構造を示すものである。



微粉狀鉛の製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 743 號, 公告 15-2-20, 東京, 岩田敏雄) 本發明は鹽酸酸性鹽化鉛水溶液の電解により微粉狀鉛を製造するに當り該電解液に鹽化第二銅を添加して操作して製造する方法に係るもので析出鉛粒子の表面の一部に銅の薄被膜を被着せしめ鉛粒子の相互に癒着するを防止し有効に製造し得る特徴を有するものである。

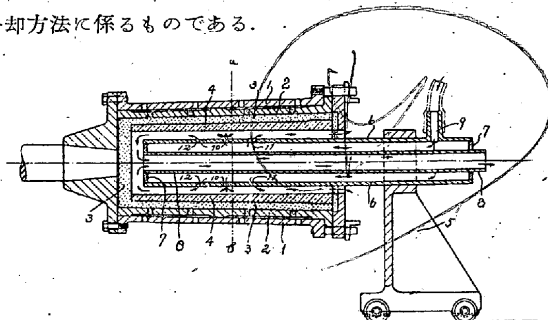
抗張力試験機 (昭和 15 年特許出願公告第 772 號, 公告 15-2-23, 大阪, 三村傳) 本發明は圖示する如く適宜回轉を傳動せらるる 2 個の送り螺旋桿を基臺の上下位置に裝架し基臺の縦方向に設けた軌條上に夫々前部把持子及後部把持子を裝備し兩送り螺旋桿の中間に位置して前部把持子に設けたる軸に螺合用把桿を嵌裝し該螺合把桿を一方側に廻して之を一方の送り螺旋桿に咬合はす事により前部把持子をして兩把持子間に裝架せる供試品を引張りつつ移動せしめ供試品の切斷と同時に自動的に螺合用把桿が他方側に倒れて他方の螺旋桿のみに咬合ひ前部把持子を原位置に復歸せしむる様備

圖一第



成した抗張力試験機に係るものである。

遠心力鑄造圓筒の均等冷却方法 (昭和 15 年特許出願公告第 782 號, 公告 15-2-23, 東京, 杉山勝馬) 本發明は圖に示す如く遠心力鑄造操作中に鑄造圓筒の内徑より小なる外徑を有し之を挿入したる時鑄造圓筒の内面と適當間隔を保持する大きの二重管を挿入し二重管の内外管間に壓搾空氣を送入し鑄造圓筒の略中央部及中央部の前後に位置する部分に於て二重管の外管に穿ちたる噴氣孔より壓搾空氣を噴出せしめ鑄造圓筒の中央部及其の附近を急速に冷却せしめ前方に噴出する空氣及中央部に噴氣する空氣の一部を鑄造圓筒と二重管の外管との間隔部を経て外部に排出せしめ中央部に噴氣する空氣の一部と後方に噴氣する空氣とを鑄型の底部に向はしめ後内管を経て外部に排出せしめて鑄造圓筒を冷却する遠心鑄造圓筒の均等冷却方法に係るものである。

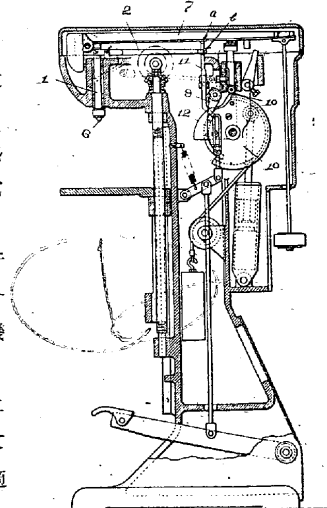


遠心力鑄造圓筒の均等冷却方法 (昭和 15 年特許出願公告第 783 號, 公告 15-2-23, 東京, 杉山勝馬) 本發明は遠心力鑄造圓筒の鑄造操作中に中央部は膨大し其の兩端に至るに従ひ漸次縮小せしめたる冷却體を挿入し鑄造圓筒の中央部近に其の膨大部を位置せしめ兩端の縮小部分を鑄造圓筒の兩端に位置する如くして鑄造圓筒を冷却せしむる冷却方法に係るものである。

銅板圓筒の銅鍍金層を互復使用する方法 (昭和 15 年特許出願公告第 808 號, 公告 15-2-23, 大阪, 小西作太郎) 本發明は使用済みの銅板圓筒を陽極としクロム又は同放金屬の下鍍金を施したる地圓筒を陰極として使用し兩圓筒を電解液中にて廻轉しつつ電解的に使用銅板圓筒の銅鍍金屬を剝離し地圓筒表面に銅を析出層着せしめ銅板圓筒の銅鍍金層を反復使用する方法に係るものである。

炭素電極處理法 (昭和 15 年特許出願公告第 839 號, 公告 15-2-23, 横濱, 日本カーボン株式会社) 本發明は炭素電極を眞空中に置き其の氣孔に存在する空氣を出来る限り排除し此眞空器中に加熱によりて炭化すべき粘着力強き樹脂類溶液を注入して該氣孔中に浸入せしめ次に此溶液に壓力を加へて溶液の浸入を良好ならしめて乾燥し次に之を空氣を遮斷して還元氣中にて出来る限り樹脂質の強度を減せざる程度の温度に加熱して樹脂質を炭化せしむる炭素電極の處理法に係るものである。

硬度試験機 (昭和 15 年特許出願公告第 841 號, 公告 15-2-26, 東京, 株式会社高砂森試験機製作所) 本發明は圖に示す如く供試材に作用せしむべき加壓體に對し其の昇降衝程中の高低に従て制御せしめらるる様槓杆其他適宜の手段に依る感受装置を特設し



て供試材及其の臺盤を試験位置迄に送込むに先ちて必要なる機の起動状態に對する準備の完成せるや否やと該送込みの結果之一體に下方より扛揚せしめられたる加壓體の高さが之に作動機構の發動を見るに適せる限界内に在るや否やとを自動的に明視表示せしむると共に該感受装置を加壓作動機構の作動行程に關聯して機の起動と同時に其の制御機構より解放せしむる様構成した硬度試験機に係るものである。

ニツケル及銅の分離法 (昭和 15 年特許出願公告第 866 號, 公告 15-2-26, 獨逸, イーゲーファルペンインヅストリー, アクチエンゲゼルシャフト) 本發明は少くとも形成する鹽化第一銅が溶解殘留するが如き程度の量の鹽化ニツケルを含有もる鹽化銅溶液を使用し鹽化ニツケル及鹽化第一銅を形成しつつ鹽化銅含有溶液に依り銅含有ニツケル鑛石よりニツケル及銅を浸出する方法に係るものである。

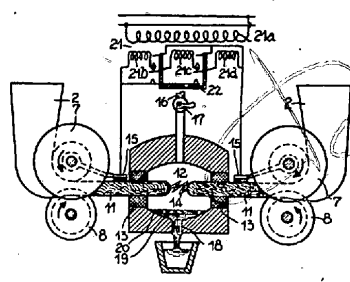
要潤滑部分たる金屬面を處理する方法 (昭和 15 年特許出願公告第 875 號, 公告 15-2-26, 東京, 豊田喜一郎) 本發明は未使用の諸機械の摩擦部分たる金屬面を潤滑油其他潤滑油類の油中に浸漬し其の油に超音波を與ふることを特徴とする要潤滑部分たる金屬面の處理法に係るもので摩擦部分の潤滑を完全ならしむる特徴を有するものである。

酸化鑛物の泡立浮揚法 (昭和 15 年特許出願公告第 876 號, 公告 15-2-26, 丁抹國, ミカエル, ヴォゲルジョルゲンセン) 本發明は植物性又は動物性油脂の鹽基を以てする處理に依り得らるゝソーパストックの酸性化に依り得らるゝ酸油の蒸餾に依り殘さるゝ殘渣が浮揚試薬として用ひらるゝ酸化鑛物の泡立浮揚法に係るもので特にセメント原料の浮揚により炭酸カルシウムを濃縮するに應用し効果あるものなり。

岩石綿の製造と同時に珪素鐵を得る方法 (昭和 15 年特許出願公告第 877 號, 公告 15-2-26, 東京, 黒澤善太郎) 本發明は玄武岩, 安山岩等の如き岩石又は熔岩と燃料とを交互爐内に装入し下方より空氣を供給しつつ内火作用に依りて岩石類を連続熔融せしめ該岩石の熔液を取出て岩石綿の製造を行ふと同時に比重差に依りて熔融岩石より分離する珪素鐵を主成分とする熔液を爐の底部に集積せしめ他の取出口より流出せしめて分取する方法に係るものである。

て尙酸化状態にて浮遊せる蒸發亞鉛を蒸氣との混合状態に於て更に第二酸化室に上昇せしめて第二次酸化を確實に遂行し得る様構成した装置に於て第二酸化室の底床中央部に凹室を設け且之を覆ひ底縁の直徑が凹室の夫れに比し稍々小なる錐形の帽狀蓋體を支設した亞鉛華製造装置に關するものである。

金屬熔融用電氣弧光爐 (昭和 15 年特許出願公告第 910 號, 公告 15-2-26, 白耳義, ローベル, モーシェ) 本發明は圖に示す如く爐の熔融體と同一の組成を有する金屬よりなる電極を使用する



電氣爐に於て電極として金屬纖維を主成分とし之が長さの方向に均一に分配せらるゝ如く之を集合して成り且其横斷面が長さの方向に實際的に一定なるものを使用し之等電極間に形成せらるゝ弧光の熱により該電極自身を熔融せしむ

様構成せしめた金屬熔融用弧光爐に係るものである。

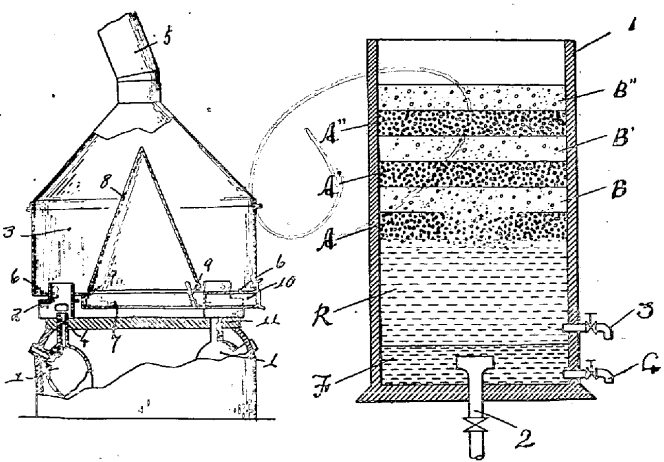
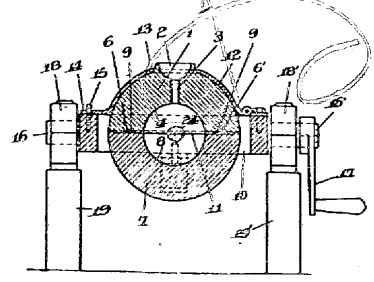
選鑛用起泡劑の製法 (昭和 15 年特許出願公告第 949 號, 公告 15-2-28, 京都, 第一工業製藥株式會社) 本發明は高級アルコール醋酸エステルの硫酸化アルカリ鹽に脂肪屬又は芳香屬アルコール又は其兩者の混合物と炭水化物とを加へ水を以て外觀透明になる迄稀釋し之を選泡劑として使用するもので極めて稀薄な溶液に於ても起泡性に富み且つ容易に消え易き性質を有するものである。

珪ニツケル鑛を原料とするニツケルの製造法 (昭和 15 年特許出願公告第 950 號, 公告 15-2-28, 東京, 日本ニツケル株式會社) 本發明は珪ニツケル鑛を粉碎し或は更に焙燒せる後之を亞硫酸溶液又は水の存在に於ける常壓若は加壓の亞硫酸ガス又は該ガス含有ガスを以て處理し Ni を亞硫酸鹽として抽出する工程と不溶性殘渣を濾別したる溶液に MgO, 若くは水酸化マグネシウム或は炭酸石灰, 石灰乳を添加し Ni 其の他金屬分の水酸化物及亞硫酸鹽を沈析せしむる工程と該沈析物を硫酸若くは亞硫酸にて溶解し炭酸マグネシウムにて水素イオン濃度を調節し又はすること無くして酸素含有ガスを導通し鐵分等を酸化除去し電解に附するか或は MgO, 石灰乳等で水酸化ニツケルとして沈析せしめ之を乾燥後還元する工程とを結合した Ni 金屬製造法に係るものである。

鉍質ベリリウムの製法 (昭和 15 年特許出願公告第 952 號, 公告 15-2-28, 獨逸, イーゲーファルペンインヅストリーアクチエンゲゼルシャフト) 本發明は鹽化ベリリウムと Mg との混合物を殊に適當なるは壓搾體の形に於て場合により無反應雰囲気中にて温度を前進的に上昇せしむる事により反應温度まで加熱し鹽化ベリリウムを Mg にて還元して鉍質ベリリウムを得る方法に係るものである。

實質堅硬なる球の鑄造法 (昭和 15 年特許出願公告第 999 號, 公告 15-3-5, 東京, 中川新作) 本發明は圖に示す如き二以上に分離し得る堅牢なる耐熱物質により成る鑄型の内面を球狀ならしめ其中央に氣體又は加熱に依り氣體に變ずべき液體若くは固體を吸

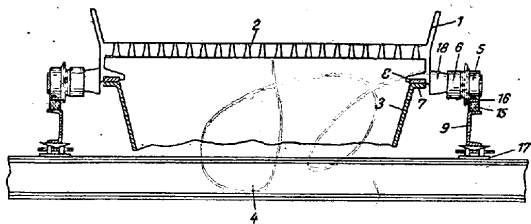
收せしめ若くは包藏せしめたる小さき物體を吊し裝入口に熔融金屬を注入し其注入口を充塞し然る後鑄型を適度に回轉し冷却するを待ちて取出し



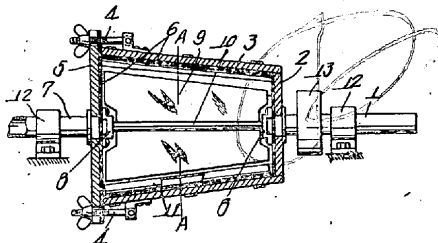
亞鉛華製造装置 (昭和 15 年特許出願公告第 881 號, 公告 15-2-26, 大阪市, 桑原正二郎) 本發明は圖示する如き蒸發亞鉛に絶えず加熱空氣を供給すべく前面に氣口兩側に氣孔を設けたる第一酸化室を上筒部に於て夫々第二酸化室に連絡せしめ第一次酸化により

質堅硬な球を鑄造する方法に係る。

带状半融又は焙焼装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1013 號, 公告 15-3-5, 獨逸, マタルゲゼルシャフト, アクテングゼルシャフト) 本發明は圖に示す如く爐格車を吸込面上の直線軌道上を導くべく且爐格車の荷重を一部分は其の輦子又は車輪の走行する軌條により一部分は爐格車に設けたる滑子が密接して乗駕せる吸込面上縁に設けたる滑り軌條によりて支持せしむべくしたる装置に於て爐格車の輦子又は車輪の適當に固定せる軌道に彈性層例へば螺旋によりて作動せらるゝ楔により調整し得る様構成した半融又は焙焼する装置に係るものである。



金銀の水銀製鍊機 (昭和 15 年特許出願公告第 1014 號, 公告 15-3-5, 兵庫, 橋本上元) 本發明は圖に示す如き銅板を以て内張りせる胴を廻轉し得る様なし胴内に攪拌翼を設け下方に銅棒又は銅球を轉動自在に挿入し兩端に排出管及注入管を設けた金銀の水銀製鍊機に係る。



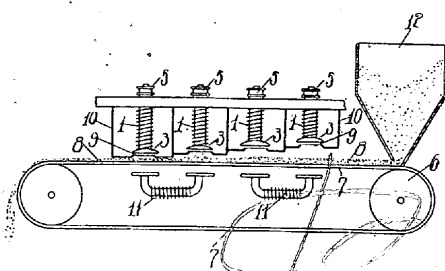
鑄石より金屬を回收する方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1015 號, 公告 15-3-5, 諾威, エミル, エドウィン) 本發明は酸化鑄石又は硫化鑄石を炭素又は一酸化炭素及生石灰と混合し適當の溫度に於て且形成したる二酸化炭素が存在する生石灰と結合し炭酸カルシウムを形成する如き壓力の下に於て反應せしめ以て炭酸カルシウム形成の際に發生する熱を利用して爾後の反應を外部よりの熱供給無く持續して行ふ金屬回收方法に係る。

マグネシウム氣蒸の凝縮装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1016 號, 公告 15-3-5, 東京, クルトマイスナー) 本發明は圖に示す如く蒸氣狀マグネシウムを還元室内に於て發生せしめ該マグネシウムを之が還元爐と直結せる液狀マグネシウムの浴内に流入して該浴内に於て直ちに液相に凝縮するに至る迄 2,000°C 以上の溫度に保持する様構成したマグネシウム蒸氣の凝縮装置に係るものである。

鐵ニツケル, アルミニウム鋼合金の加工性を改良する方法 (昭和 15 年特許出願公告第 1017 號, 公告 15-3-5, 東京, 三島徳七) 本發明は Ni7~35%, Al 3~20%, Cu 0.5~40% にして且少くとも Fe 30% を含有する Fe-Ni-Al-Cu 合金を 700°C 以上にして該合金の熔融點以下の溫度に持來し此溫度に約一時間維持し然る後 α より γ への變化溫度と 500°C との間の溫度範圍に於て毎分 10°C より小なる冷却速度特に毎分 1.5°C の如き冷却速度で冷却して該合金の加工性を改良する方法に係る。

鋼及鋼合金熔接用被覆電極棒 (昭和 15 年特許出願公告第 1048 號, 公告 15-3-5, 神戸, 武内勉) 本發明は重量にてマンガム鐵 20~35%, 鹽化亜鉛 12~18%, 炭酸曹達 13~8%, 鹽化アンモニウム, 12~16%, 硼砂 25~15%, 珪砂 18~8% よりなる練成被覆劑を塗着乾燥した熔接棒に係るものである。

砂鑄採取装置 (昭和 15 年特許出願公告第 1050 號, 公告 15-3-5, 横濱, 明石豊) 本發明は圖に示す如く高速度で廻轉する數個



の電磁石の各鐵心の一端に夫々圓盤狀の吸盤を附設し之を不帶磁性資料より成る遮板を以て包被し且遮板の一部に開設せる吸入口内に露出せしめ置き該吸入口をして移送帶に對して順次近接する如く直而せしめ又移送帶を挟みて前記吸盤に相對向する如く極片を有する電磁石を備へた砂鐵の採取装置に係る。

特許抜萃

Table with 4 columns: 特許番号 (Patent No.), 名稱 (Title), 特許權者 (Applicant), 公告抜萃 (Publication No.). Contains a list of 40 patent entries.